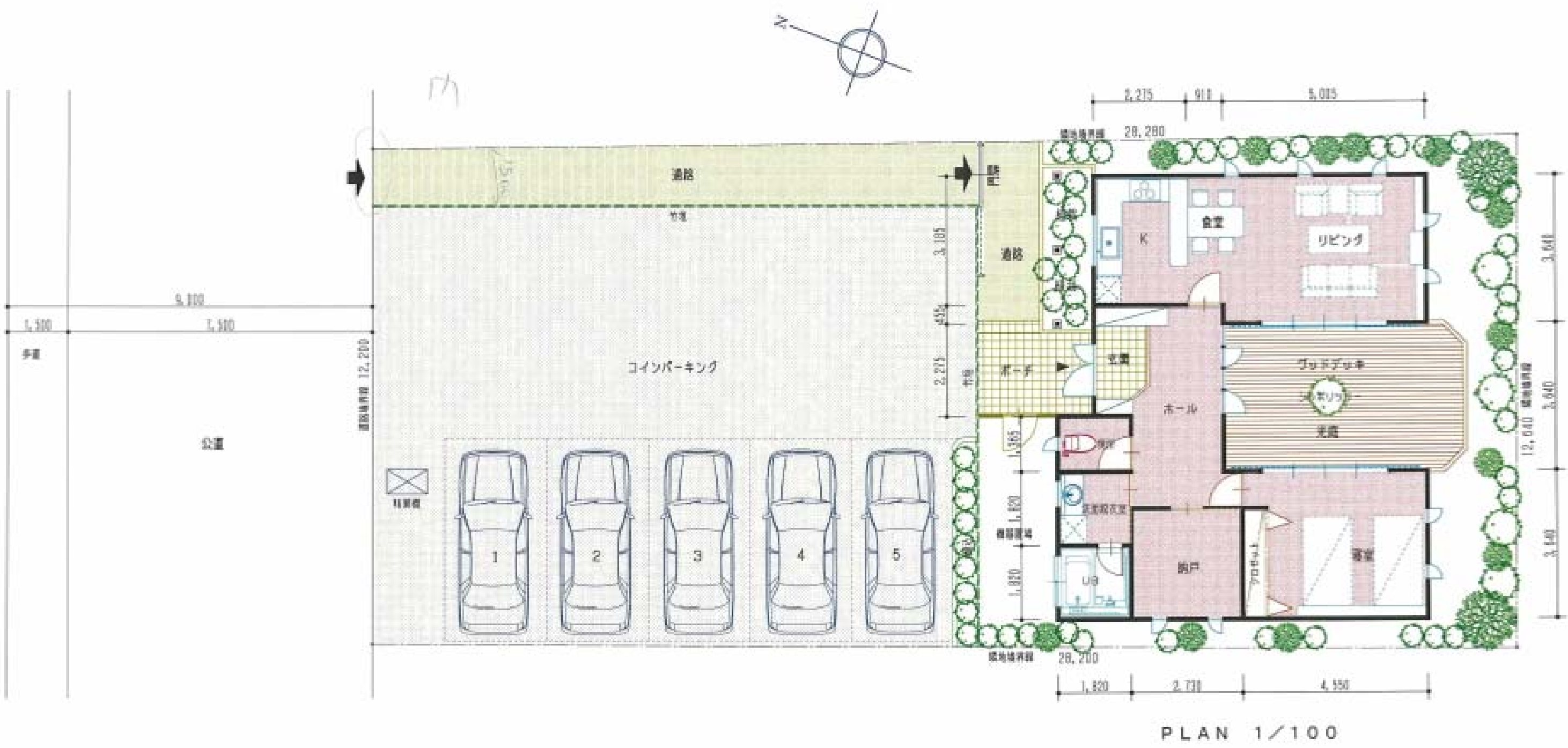


山内邸基本計画案



設計趣旨

- ・ 計画地は横浜駅西口より徒歩15分程度の沿線商店街に位置し、すぐそばには鴨子川が流れる比較的静かな場所ではあるが、一戸建ての住宅地より事業用用地に通しているように思われる。
ロケーションも南側には隣接して3層建ての建物、北側にはマンションが立ち並び、日照とともに条件が悪い敷地である。上記の条件を克服しての住空間を確保するために、典座敷的な住宅【光庭のある家】をコンセプトに計画してみた。
- 1. 日照・通風：光庭を中心に主要室を配置して周囲の環境変化にさらされず常に日照、通風を確保しシンボリックリーとして落葉樹を植栽して春夏秋冬の変化を楽しむように考えた。

- 2. 配置プラン：パブリックなリビングゾーンとプライベートな就寝ゾーンとに分け光庭に面する開口部を全面開放することにより、それぞれのゾーンを一体化する。
- 3. 視的効果：玄関を入ると光庭よりの日照が入り、路地より突然広い空間に出会う効果をねらい、光庭に面する開口部はハイリセッションの全面開放にしてより広い空間を感じさせる効果もねらった。
- 4. その他：住宅の規模、バリアフリー、立面的デザインより平家屋とした。
本計画面積は約23坪であるので希望工事費の1200万円では52万余円/坪であるので、地盤改良、既存家屋解体、盛り土、地盤調査、設計監理費、確認申請料、外構、植栽を含めると総事業費が1500万円ではちょっと苦しいのではないかとと思われる。

敷地面積	350.82㎡
建築面積	81.15㎡
延べ面積	75.77㎡

山内邸基本計画案

